

令和5年6月5日

令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院
学校関係者評価委員会

学校法人 立志学園 九州中央リハビリテーション学院 学校関係者評価委員会は令和4年度自己点検・自己評価報告書に基づき、学校関係者評価委員会を開催いたしました。このことにつきまして下記のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員会委員

学外委員（順不同）

- 三宮克彦様 医療法人社団寿量会 熊本機能病院 理学療法科科长
- 田尻陽介様 社会福祉法人双友会 グループホームつつじのさと 管理者
- 津田恵美様 くまもと県北病院 看護部長
- 吉田一美様 向山地区第3町内 自治会長
- 彌 敏彦様 九州中央リハビリテーション学院後援会会長（学生保護者代表）
- 古山 仁様 九州中央リハビリテーション学院同窓会会長（卒業生）

2. 学校関係者評価委員会

- 開催日時 令和5年6月2日（金）17:30～18:30
- 開催場所 九州中央リハビリテーション学院1号館会議室
- 外部委員 三宮克彦、田尻陽介、津田恵美、吉田一美、彌敏彦、古山仁
- 学院側 田島徹朗、山崎孝文、福山貴美子、野島謙一郎、石崎聖英（事務局）
- 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

1. 教育理念・目標	
① 課題	・臨床実習に、実習ごとに現場を教員が訪問し、実習学生や就職した卒業生について情報交換しているが、臨床実習施設でない学生の就職後の状況については把握ができていない。
② 今後の改善方策	・臨床実習施設以外の就職先へのアンケートの実施や同窓会と連携して卒業生についての情報収集を図る
③ 特記事項	・全般的に学院の理念・目的・育成人材像は描かれており、学外を含めてHPでの公開や保護者会等での資料提供を行っている
基準1 評価、ご意見	
	・学院の教育理念や目的目標がきちんと明文化され公表されていると考えられます。 ・医療系・福祉系の専門学校としての役割や指針などが明確になっている。 ・各業界のニーズに対応しており関係者との情報交換なども積極的に行われていると感じています。
2. 学校運営	
① 課題	・事業計画に沿った吸引の確保を行い、在席する教員についても計画的に研修の機会を確保する必要がある。 ・組織図に則った業務分担（業務分掌）の作成が必要である。 ・運営方針は策定されており、職員に対して周知を行っているが、その理解の状況確認がなされて

<p>いない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修報告書のフォームは作成されているが、活用がなされていない。 ・一部の非常勤講師としか情報交換は行われていない。 <p>② 今後の改善方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の採用については、今後も社会的ニーズを予想し、慎重に検討する。 ・在席教員についてもそのニーズに応えられるよう積極的に研修や自己研鑽を行う ・議事録や記録の作成がなされていないことで評価を上げることができていない項目があるため、常に議事録や記録の作成、報告書の提出を行う ・非常勤講師との情報交換ができる場を設定していく。
<p>基準2 評価、ご意見</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・運営方針の掲示や周知は確認できていますが、教職員への周知の確認や、積極的な情報発信をお願いしたい。 ・また、情報の共有化も必要と思われます。 ・組織図の確認はできていますが、校務分掌の作成を本年度中にお願ひします。
<p>3. 教育活動</p>
<p>① 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師の講義内容に関しては、観察及び検討はなされていない。 ・次期カリキュラム改定においては、教育課程編成委員会での意見を反映させてはいるが、現カリキュラムでの変更は行っていない。 <p>② 今後の改善方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師の講義を定期的に聴講し、積極的な意見交換を図る ・非常勤講師との情報交換ができる場を設定する。 <p>③ 特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生をはじめ、医療現場で活躍する各分野の専門家を招き、医療人としての資質教育にも力を入れている
<p>基準3 評価、ご意見</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・概ね適正な評価と感じます。定期的な授業の観察（非常勤講師を含む）を実施していただきたい。 ・カリキュラム作成時に外部関係者の意見など取り入れてより良いカリキュラムの作成をお願いします。 ・卒業生を非常勤講師として招き学生への特別授業などを取り入れておられ、現場の生の情報など学生にとっていい刺激になると思われまふ。今後も積極的に現場の情報を学生に届けていただきたい。
<p>4. 学習成果・教育成果</p>
<p>① 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学科ともに、修業年限の中で一応の成果を出せている。 ・国家試験の合格率の全国レベルより優れている。 ・コロナ感染拡大により学生の「持てる力」を育成する活動（教課外活動・協同学習・チーム学習など）を停止せざるを得なかった。 <p>② 今後の改善方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染状況を確認しながら、基本的な感染対策を取りつつ、効果的な学習方法や活動を多く取り入れ、学生の成長に繋げていく必要がある
<p>基準4 評価、ご意見</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験の結果は全ての学科において全国平均を大幅に上回る結果で非常に素晴らしいことと感じます。今後もいい結果を残せるように先生方は大変でしょうがよろしくお願ひいたします。 ・今回不合格になった学生についても10月から最終学年と一緒に国家試験対策を行うことで最終目標まで

しっかりフォローしていただいていると感じました。
・いまだ続くコロナ感染で思った教育活動が出来なかったと思われませんが、国家試験合格率を見ても先生方の学生に向ける情熱などを感じます。

5. 学生支援

- ① 課題
- ・学生の多様化（学力低下、家族背景、メンタル、職業観など）が進んでいる
 - ・留年や退学者が減少しない
- ② 今後の改善方策
- ・学生との信頼関係が送付に築けるよう授業以外の関わる時間（活動）を増やす
 - ・早期より面談（二者・三者）を行い保護者のニーズも把握する
 - ・授業参加状況や遅刻欠席状況など学生状況の把握に努め学院の強みである、担任制、学生サポート委員会、スクールカウンセラー等と連携し早期に問題解決を行う
 - ・研修の時間等を使い、学習方法の獲得を支援する

基準5 評価、ご意見

・コロナ禍の状況で課外活動がままならない状況ではありましたが、修学支援や就職活動など適切に行われていると感じています。

6. 教育環境

- ① 課題
- ・教育施設・設備等については基準を満たし十分に対応できるようになっている。
 - ・学内の無線 LAN 整備状況、教育用システムなど、教育上の必要十分な対応ができるようになっている。
 - ・参考図書や関連図書などの新刊については整備が遅れている。
- ② 今後の改善方策
- ・参考図書や関連図書の定期的新刊購入を行う
 - ・備品の老朽化については、必要の応じ費用対効果や運用の見直しを検討
 - ・1号館・2号館・3号館の総合的な防災訓練の実施

基準6 評価、ご意見

・適正な評価と思われれます。新刊の図書の購入については本年度予算を組んでおられるとのことですので学生のためにも新刊を購入し勉学に励んでいただきたいと思います。

・医療系の教育備品などは高価なものが多いためどうしても修理修理で繋いでいかなければならないと思います。授業の支障がない程度に修理や購入を検討していただきたい。

7. 学生の受入れ募集

- ① 課題
- ・18歳人口の減少するなか、教育体制・教育成果を学生募集に反映できるように努力する。
- ② 今後の改善方策
- ・他学科と連携した独創性のある環境・教育システムの検討・構築を図る
 - ・個別の学修支援強化を図る
- ③ 特記事項
- ・夜間開講時間を活かした学生・学習支援の強化を図る
 - ・学生部による生活支援を行っている

基準7 評価、ご意見

- ・少子化の中で受験生がへっているにも関わらず例年、定員に近い学生を集めておられることに日頃からの高校などの訪問のたまものだと思います。
- ・理学療法学科は夜間部があるので社会人などへのPRを積極的に行われたらと感じます。

8. 教育の内部質保証システム

- ① 課題
 - ・自己点検・自己評価を行った後の改善計画の策定・検証がなされていない
 - ・個人情報の取り扱いについて教職員への周知はしているものの意識づけがなされていない
 - ・卒業生に対してのアンケート調査やヒアリング調査などを通じて卒業後のキャリア形成への効果の把握ができていない
- ② 今後の改善方策
 - ・自己点検・自己評価後の課題の洗い出し、改善計画の策定並びにその結果の検証を行う必要がある
- ③ 特記事項
 - ・教育情報の公開は学院ホームページ上で行っている
 - ・個人情報保護に関しては学生が臨地実習に出向く際には必ず実習先に個人情報保護の誓約書の提出を行っている。

基準8 評価、ご意見

- ・自己点検自己評価並びに学校関係者評価委員会の評価を教職員の方々へフィードバックして今回、評価2であった項目を3若しくは4へ移行できるように取組を行っていただきたい。

9. 財務

- ① 課題
 - ・本学院の理想、将来像は漠然としたものはあるものの、具体的な中期計画の策定がなされていない。
- ② 今後の改善方策
 - ・当学院の現状や学院を取り巻く環境の確認を行い、今後の動向（人口の推移、法改正など）の予測し中期計画の策定を行う必要がある
- ③ 特記事項
 - ・財務基盤は安定し、予算収支計画は妥当なものとなっている。
 - ・適切な監査が行われ、財務情報はホームページ上に公開されている。

9. 評価、ご意見

- ・財務基盤に関する関係書類等はきちんと整備されており監査も問題ないと思われます。
- ・学院のホームページにも情報公開として決算書類関係の公開もなされており適切と評価します。

10. 社会貢献・地域貢献

- ① 課題
 - ・新型コロナ感染拡大により学生へのボランティアの募集等が少なくなってボランティア活動が思うようにできなかった。
- ② 今後の改善方策
 - ・今後の感染拡大を注視し地域や福祉施設等のボランティア活動の再開を計画。
- ③ 特記事項
 - ・施設を活用した地域貢献として、Charichari ポートの設置や外部への施設貸出を行い地域貢献に努めている

基準 10 評価、ご意見

- ・コロナ禍以前は近隣の住民対象としたウォーキング体操が開催されていましたが、まだコロナが収束していませんがそのような近隣住民を対象とした活動の再開を希望しています。
- ・Charichari ポート（レンタル自転車）の設置は地域貢献となりますね。

1 1. 国際交流

① 課題

- ・留学生の受入れの計画はあったものの、新型コロナ感染拡大予防のため、海外、国内とも受入れが出来なかった。
- ・海外で使える資格の証明書については発行していない。

② 今後の改善方策

- ・海外用証明書の発行を検討

③ 特記事項

- ・留学生の学生指導については、留学生用の細則を作成し、自宅訪問も実施している。
- ・日本語能力検定に対する試験対策授業を積極的に行っている。

基準 1 1 評価、ご意見

- ・まだまだ留学生の入国が一時的に解除されてはいるものの積極的に受け入れされていると評価します

全体に関する評価、ご意見

- ・今回より評価様式が変更となって新しい評価項目が増えていますが、適切に評価されていると感じています。
- ・議事録や記録がなくて評価が下がっている項目もあるようで今後は書類関係の作成をお願いします。
- ・学生の多様化が進んでいる中で適切な学校運営がなされていると感じました。
- ・新しい学科（デジタルソリューション学科）を設置されるとのこと、医療現場においてもますますデジタル化が進んでおり、職場でもデジタル化に精通した職員は必要となってきている。今ある学科と連携して医療・福祉の学生でもデジタル化に適応した学生育成をお願いしたい。